

## 記

日時：令和4年12月6日(火) 16:10-18:00  
開催方法：ZOOMによるオンライン開催  
※後日ZOOMのURLをお送りいたします。  
共催：日本OR学会中国・四国支部「ORと数学」研究部会

### 講演プログラム

1) 16:10-17:00

安本真士（徳島大学大学院社会産業理工学研究部）

講演題目：可積分な曲面の離散化とその構成

概要：

3次元ユークリッド空間内のガウス曲率負一定曲面や極小曲面をはじめとする、特定の曲率条件のもとでの曲面の研究は、微分幾何のみならず種々の観点から研究が行われている。本講演では、これらの曲面のクラスの背後に潜むある種の可積分性を保つ曲面の離散化の理論を概説し、いくつかの離散曲面の構成法について最近得られた結果（Mason Pember氏、Denis Polly氏との共同研究）を紹介する。時間が許せば、講演者によって構築された、3次元ローレンツ・ミンコフスキー空間内の時間的極小曲面の離散化についても概要を紹介する。

2) 17:10-18:00

水野義紀（徳島大学大学院社会産業理工学研究部）

講演題目：虚二次体の類数のはなし

概要：

虚二次体の類数について、講演者の結果をいくつか紹介します。すべて判別式条件を緩める形での諸公式の一般化を与えるものです。1. 連分数展開と類数（ヒルツェブルフ・ザギエ型公式）、2. 位取り記数法と類数（ギルツマイル・平林型公式）、3. ペアの類数とヒルベルト・アイゼンシュタイン級数のフェーリエ係数。1と2は数の表記法と類数の関係を与える内容で、3は特異モジュライに関するグロス・ザギエ型公式（ハッチンソン予想）に応用をもちます。

### 談話会世話人

高橋浩樹（徳島大学大学院社会産業理工学研究部）

E-mail: [hirokit@tokushima-u.ac.jp](mailto:hirokit@tokushima-u.ac.jp) <<mailto:hirokit@tokushima-u.ac.jp>>

宇野剛史（徳島大学大学院社会産業理工学研究部）

Email: [uno.takeshi@tokushima-u.ac.jp](mailto:uno.takeshi@tokushima-u.ac.jp) <<mailto:uno.takeshi@tokushima-u.ac.jp>>